

## 概要

- 河津町には「河津桜まつり」等の観光資源があり、毎年多くの観光客が訪れるが、新たな観光資源開発等は進んでおらず、従前の観光資源だけに頼った「外貨獲得」は頭打ちの状況にある。
- 下河津漁港は刺網・採貝藻・定置漁業の拠点であるが、水産資源減少や磯焼けにより水揚量は減少し、漁業経営は厳しい状況にある。また、漁港周辺地域の活性化のため、河津漁業経営振興会が主体となり、朝市、漁業体験、食堂営業にも取り組んでいるが、小規模な取組に留まる。
- 漁業・海洋資源、既存観光資源、未導入の新たなコンテンツを結びつけて新たな価値を創造し、これまでよりも多くの来訪者・外貨の獲得を図ることで、漁業者や関係事業者・地域住民・来訪者の「三方良し」の地域づくりを目指す。



### 海業の取組概要

引用元：Google社 Google マップ



#### 海洋博物館

JTB GMT・JTB総研

国重要文化財に指定された「南禅寺仏像群」のレプリカを海底に設置する。  
これを目的としたダイビングの展開と、漁礁効果による水産生物の保護・増殖を図る。



#### 動くホテル

JTB GMT・JTB総研

刺網休漁期間中の作業場をキャンピングカー(動くホテル)の駐車スペースとして活用。海の近くで宿泊、移動、食事を楽しめる新しいサービスを展開。利用者から停泊料を頂くビジネスモデルを構築。



#### 藻の養殖

○Pure Biokeyz Japan株式会社

海外の最新技術提供を受け、空き倉庫等を活用して事業を実施。養殖した藻から各種食品原材料、食品（ミルク、代替肉類等）を生産。本港をモデルに藻養殖の新産業を創生し、町内へ展開することで地元収益増加を図る。



### 協力体制

JTB GMT

Pure Biokeyz Japan  
株式会社

JTB総研

企画・運営協力

技術提供

河津漁業経営振興会

支援

管理協力

静岡県・河津町

伊豆漁協

### 効果

- 動くホテル：R8年度売上10,000千円
- 藻の養殖：藻商品のR8年度売上1,000千円
- ➡交流人口拡大、新たな収益の確保により、地元経済活性化

### スケジュール

- R7年度 藻の養殖：計画立案・実証実験  
動くホテル：(上半期)実証実験  
(下半期)事業開始
- R8年度 藻の養殖：事業開始  
海洋博物館：計画立案  
海洋博物館：実証実験